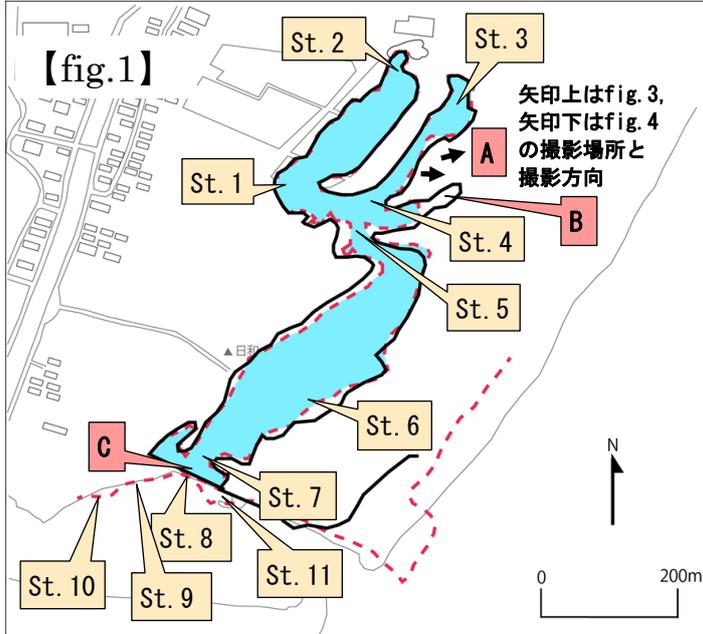
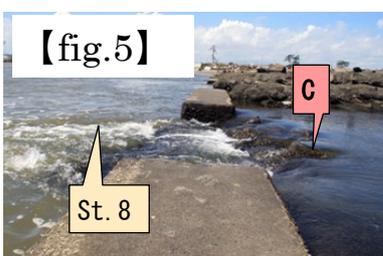


蒲生干潟周辺の塩分濃度⑦



地点	塩分濃度(%)							最大値-最小値
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	平均	
St.1	1.8	2.1	2.0	2.8	2.0	1.8	2.1	1.0
St.2	0.1	1.0	1.2	2.4	1.7	1.8	1.3	2.3
St.3	0.9	1.8	1.1	2.6	2.4	1.4	1.7	1.7
St.4	1.8	1.8	2.1	2.8	2.4	2.3	2.2	1.0
St.5	2.4	1.9	2.0	2.8	2.2	2.4	2.3	0.9
St.6	2.5	1.8	2.2	2.5	2.8	2.2	2.3	1.0
St.7	2.9	1.9	2.2	2.2	2.7	2.0	2.3	1.0
St.8	3.3	2.0	2.1	2.6	1.0	1.1	2.0	2.3
St.9	3.2	2.0	0.9	2.5	0.6	*	1.8	2.5
St.10	3.2	2.0	0.7	3.1	0.4	*	1.9	2.8
St.11	3.1	3.3	1.4	*	*	*	2.6	1.9



【table1】 →

平成28年8月31日 fig.1に示す採水地点St.1～St.8から採水、塩分濃度を測定した (table1)。前日に台風が通過したため、潟湖内の水は混濁しており透明度が著しく低かった (fig.2)。また、fig.1に示すA地点には水たまりが多数見られ、潟湖へ水が流入していた (fig.3 fig.4)。B地点は降雨により拡大したと思われる部分である。また、潟湖内の水位が高く七北田川側への水の流出が激しかった (fig.5)。

塩分濃度は表層水を採水し測定した。今回、試験的にSt.6で水底 (水深23cm) の塩分濃度も測定したが、表層との有意な差は見られなかった。A地点水たまりでは0.9%、B地点拡大部では1.5%と潟湖に比べて塩分濃度が低かった。導流堤をはさみ、潟湖内C地点では2.0%、七北田川側St.8では1.1%と潟湖内外での塩分濃度に差が見られた (fig.5)。

3月から8月までの塩分濃度をそれぞれの地点で比較すると、潟湖内 (St.1～St.7) の方が七北田川河口 (St.8～St.11) より高い傾向にある。また、それぞれの地点での塩分濃度の最大値と最小値の差は潟湖内で小さい傾向にある。

(大津秀穂)